

第 12 回 教育支援のための FD ワークショップ 授業応答システム（クリッカー）の活用方法を考える

授業応答システム（クリッカー）は、授業者と学習者の双方向コミュニケーションを可能にするツールのひとつです。学生一人一人がカード型の端末を持ち、授業者からの発問に対して端末を使って多肢選択式で回答します。それぞれの選択肢を選んだ学生の割合や人数がその場でパワーポイント画面に表示されるので、どの程度の数の学生が正しく正解を選べるかがすぐに分かり、授業の理解度を確認しながら授業を進めることができます。また、「割りばしを使うことに賛成か反対か」といった問いかけへの賛否を問うて、議論を始めるきっかけにすることなども可能です。

本学の全学共通教育では Turning Point というクリッカーを使うことができます。第 12 回 FD ワークショップでは、実際にどのように授業でクリッカーを使えるかについて、Turning Point 販売元の KEEPAD 社から講師にお越しいただき、具体的なクリッカーの使い方を考えながら習得したいと思います。お忙しい中とは存じますが、是非ともご参加いただけましたらと思います。よろしくお願いいたします。

日時：2012 年 10 月 19 日（金） 16 時 20 分から 17 時 50 分

場所：全学共通教育棟 2 階会議室


当日は、KEEPAD 社からのごく簡単な説明の後、参加者一人一人の授業で使う「双方向フレゼンテーション」の作成作業をしたいと思います。そのため、ご参加いただける方は次のご用意をお願いいたします。

- ① パワーポイントの入ったノートパソコンをご持参ください。
- ② ①のノート PC に、こちらのサイトからソフトウェア（Turning Point）をインストールしておいてください（Windows の方は TurningPoint を Mac の方は TurningPoint Anywhere をインストールしてください）。

<http://www.Keepad.com/jp/tp08-downloads.php>

- ③ 可能であれば、下記の例のような、授業で学生に投げかける質問をご用意ください。

<発問の例>



ピアジェの発達理論における幼児の「自己中心性」の意味として最も適切ものはどれですか？

1. 幼児は、わがままな行動を多くとること
2. 幼児は、他者の視点が自分の視点とは異なるのだということ、まだ理解できないということ
3. 幼児は、抽象的な思考ができないということ
4. 幼児には、独り言を多く言う時期があるということ

（正解は 2 だが、授業を聞けていないと 1 を選択する可能性が高く、理解が曖昧な場合は 3 や 4 を選択する可能性が高くなる）

主催：大学教育研究センター（企画：西垣順子）